

2019 年度短期大学部 FD 活動報告

短期大学部 FD 担当
丹羽牧代

2019 年度は、これまでの短大部の教育活動をふりかえりつつ、学生の学びを総括的に検討していくこととした。また残留生の卒業に向けてどのように種々の支援をしていくことが可能かを検討し実施することを目標とした。このようなねらいや目標設定を置いたのは、(i)残留する学生の履修予定科目が数科目というような少数ではなく、ほぼカリキュラムの2年次部分をカバーするような広範囲にわたっており、総合的な教育視点を持つ必要があったこと、(ii)残留生2名しかいない特殊な環境の中で学生が動機づけを失わず修学を続けていくためには、相当の支援が必要であるとの認識があったこと、というふたつの理由からである。

1. カリキュラムポリシー・ディプロマポリシーの確認と検証

既に募集停止をしているため、カリキュラムポリシーとディプロマポリシーの改変の予定はなく、アドミッションポリシーについても検討対象にはしていない。しかし、上述のように2年次部分をほぼ履修する学生がいたため、年度途中のFD研修会にて、あらためてカリキュラムの全体像と卒業次に獲得させるべき成果という2つのポリシーの再確認とそれに基づく検証を行った。

2. FD 研修会の実施

本年度のFD研修会は、秋学期に行われた。

(1) 第1回FD研修会

テーマ： 学生の総合ポートフォリオからの検証

開催日時 2019年11月7日 17時10分～17時50分

場 所：R棟学部長室 (R729)

出 席：中田、市瀬、丹羽

<内容>

在学生在が少数であることを生かして、カリキュラムポリシーに基づいた全科目の成果が目に見えるようにひとつのファイルにまとめた「総合ポートフォリオ」を今年度は作成している。これを全員で検討し、個々の科目における学生の成長変化や、科目を横断して見られる特徴などを取り出し、ディプロマポリシーとの整合性や達成度を確認した。この時点でシェアできたことを残りの授業期間に活かせるようディスカッションを行った。

3. 日常的FD活動

2019年度において短大部では残留している学生を最大限サポートするために、これまでに以上に学生の履修状況や授業における達成度などの情報共有を日常的に行った。主な活動は以下3つである。①教授会の定期報告事項として学生動向を入れる。これは前年度までも行っていた活動である。②教員・職員が連携して日々の授業における個々の学生の出席動向を把握し、メール等で情報共有を行う。各科目担当教員から出席状況、時には学習状況を報告し、それを事務職員が記録すること

で、修学状況が目に見える形となって集約された。さらに一部の情報については保証人にも通知し、双方連携して履修継続のサポートを行えるようにした。③科目担当教員が短大部教員に限定されていたことを最大限利用し、特に日時を定めた会合という形を取らずに各科目の授業進行の状況や留意点などを教員同士で随時情報交換した。（おおむね2週間に1度程度）。このように短時間ではあるが頻度の高い会合によって、教授会の開催されない週も含めて週ごとの学生の課題を相互に把握し、それぞれの授業を臨機応変に運営することができた。

以上